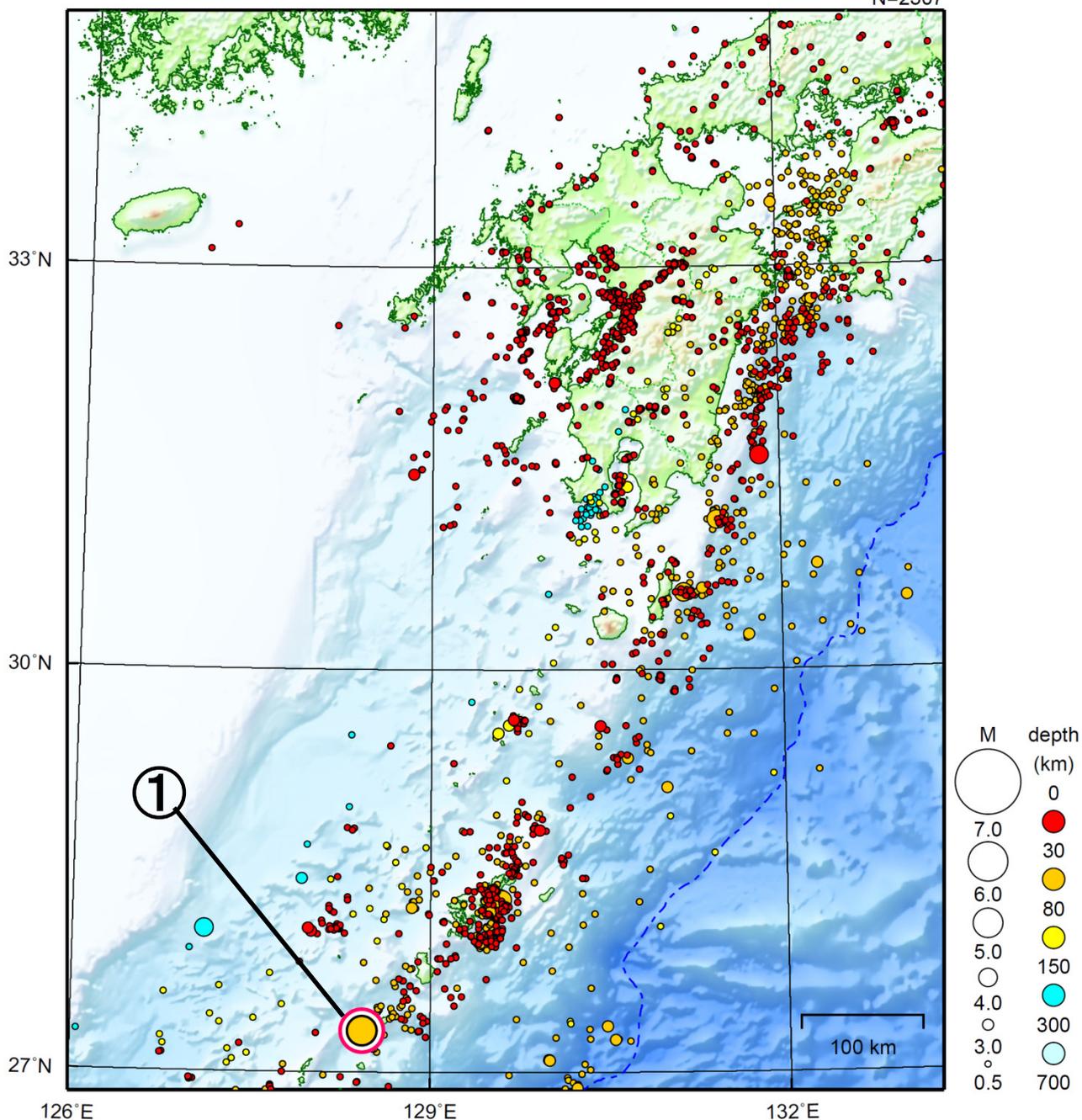


九州地方

2019/12/01 00:00 ~ 2019/12/31 24:00

N=2307



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

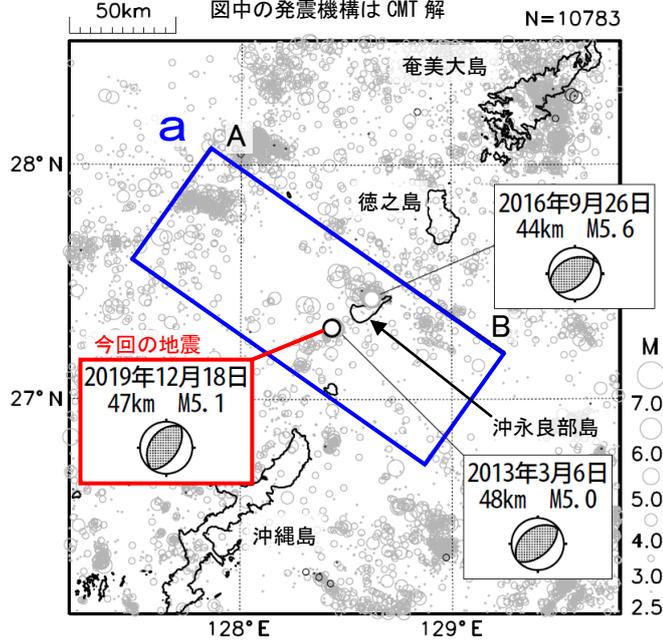
- ① 12月18日に沖縄本島近海（沖永良部島付近）でM5.1の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

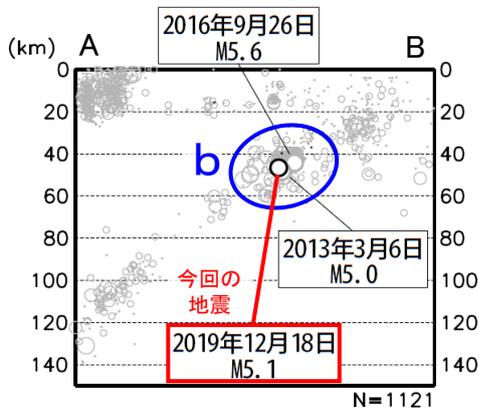
気象庁・文部科学省

12月18日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

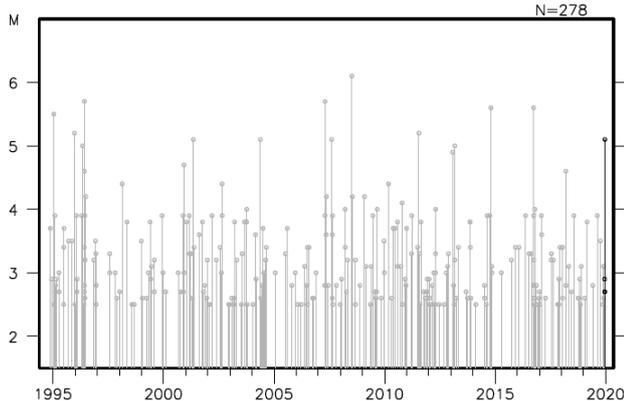
震央分布図
(1994年10月1日～2019年12月31日)
深さ0～150km、M≥2.5
2019年12月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図

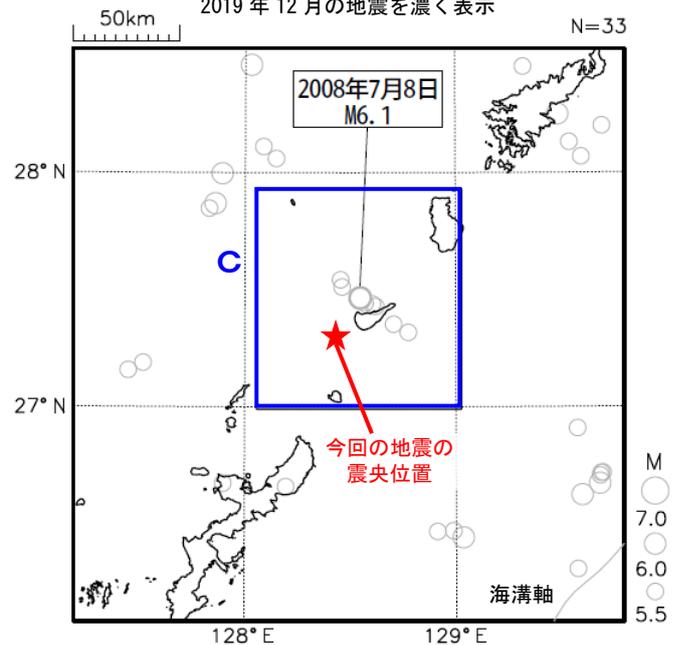


2019年12月18日08時35分に沖縄本島近海(沖永良部島付近)の深さ47kmでM5.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震がしばしば発生しており、近年では2016年9月26日にM5.6の地震(最大震度5弱)が発生している。また、震源の近傍では2013年3月6日にM5.0の地震(最大震度4)が発生している。

1973年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、2008年7月8日にM6.1の地震(最大震度5弱)が発生し、鹿児島県与論町(与論島)のホテルの壁の一部破損や柱の石膏ボード破損の被害が生じた(総務省消防庁による)。

震央分布図
(1973年1月15日～2019年12月31日、
深さ0～90km、M≥5.5)
2019年12月の地震を濃く表示



領域c内のM-T図

